



校章

# 谷塚中だより

学校教育目標【学び合う生徒 思いやる生徒 高め合う生徒】

草加市立谷塚中学校

令和6年8月28日

第5号

## 新たな気持ちで突き進む2学期

校長 森 寿義

39日間の夏休みもあっという間に終わり、2学期がスタートしました。今年の夏も連日の猛暑続きで、とても暑い夏でした。ゲリラ豪雨も頻繁に発生し、埼玉県でも大きな被害に見舞われた地域もあったようです。また、こちらはあまり大きな話題になっていないですが、コロナウイルス感染者も全国では多くなっているようです。2学期も感染対策をしっかりとしていきながら学校生活を送っていきたいと思います。39日間の静かな学校でしたが、久しぶりに生徒の元気なあいさつの声が聞こえ、活気を取り戻したように感じます。

夏休み中も様々なところで、谷塚中生の活躍を見ることができました。運動部では、たくさんの部活動が県大会に出場し、すべての種目の応援にはいけなかったのですが、顧問の先生から、最後まで諦めずに戦い抜くことができた、という話を聞くことができました。特に女子バレーボール部は、関東大会出場にあと一步のところまで上り詰めました。応援にも熱が入り終わった時のあの脱力感は今でも思い出します。また、クラブチームの野球で参加した生徒も県大会3位になり、あと少しで関東大会出場だったと聞いています。3年生は引退してしまいましたが、良き伝統を下級生は必ず受け継いでくれると思います。その分3年生は自分の進路に向けて精一杯努力してほしいと思います。もちろん、運動だけでなく文化芸術、その他でも夏休み中に活躍してくれました。吹奏楽部は、埼玉県吹奏楽コンクール南部地区大会で金賞を受賞、箏曲部はTBS子ども音楽コンクールで優秀賞を受賞しました。また、その他でも、英語弁論大会では、2年生の（生徒名）さんが1位で県大会へ、同じく2年生の（生徒名）さんが「少年の主張」大会の県大会で最優秀賞を受賞しました。大会ではありませんが、草加市で行われた「いじめ撲滅サミット」に、3年生の（生徒名）さん2年生の（生徒名）さんが参加し、谷塚小学校、氷川小学校の児童と一緒に谷塚中学校区のいじめ撲滅に向けての取組についてたくさんの参観者がいる中で堂々と発表してくれました。

このように夏休みに行われた大会等でこれだけ活躍できる谷塚中生ですから、2学期もたくさんの行事及び大会等で目標を持って努力してくれることを期待しています。始業式でも話をしましたが、みなさん一人ひとりに様々な可能性があると思いますが、できるはずなのに、やろうとと思っているのに、やらないのは、自分の可能性を潰してしまうようなものです。一度は「やればできる子なのに」と言われたことがあると思います。様々な可能性があるみなさんですからこの言葉は間違いではありません。と考えると、まず初めにお願いしたいことは、日頃のあいさつや授業態度、清掃や朝読書、遅刻をせずに登校など「できて当たり前」のことを当たり前に行える人になってくれるとその他のことにも影響してくるのではないのでしょうか。